

# グリーンルーフ

No.81

2017.3.14



アリスティド・マイヨール《とらわれのアクション》1905年

## 表紙の作品解説

アリスティド・マイヨール《とらわれのアクション》  
1905年、ブロンズ、高さ220cm

フランス、ニース近郊の町ビュジェ=テニエは、19世紀にこの町が生んだ2月革命の首謀者オーギュスト・ブランキの記念碑をマイヨールに注文しました。1908年、《とらわれのアクション》は町役場前広場に据え付けられました。しかし、男性を顕彰するのに力感あふれる女体で表現された像に衝撃を受けた人々からは論議が起こり、とうとう除幕式は行われませんでした。あまりにも大胆な本作は、当時の人々の理解を超える存在だったのです。

マイヨールは1861年南仏のバニユルスに生まれ、パリの美術学校で絵を学び、ゴーギャンやドニらの影響を受け、タピスリーを制作し、40歳頃から彫刻家に転身しました。彼は、

ロダンによって開拓された新しい彫刻の流れを歩みながら、新たに建築的な構成と量感を求めました。彼が目指したのは、フォルムの探究以上に、その奥に隠された不可解なものであり、その内的なものを見極め、それを永遠にとどめようとした。本作は、三十数年にわたり収監されたブランキの束縛感やそれに逆らおうとする内からみなぎる力を、躍動感に満ちていながら憤み深く、巨大でありながら繊細な感覚に貫かれた壮麗なものとして、力強い女性のトルソで表現しました。その美しさと生命力は、時流を超越した造形性をもって強烈な印象を与えるものとなりました。

## contents

- 市美のお宝、四方山話 ①  
郷土作家の油彩画修復に思う
- 市美のお宝、四方山話 ②  
二人の画家が描いた西郷像
- 表紙の作品解説
- Topic : ① カフェとライブラリーのリニューアル  
② 展覧会図録の割引販売

鹿兒島市立美術館

〒892-0853 鹿兒島市城山町4-36  
TEL(099)224-3400 FAX(099)224-3409  
<http://city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>